

第33回「日本プラセンタ医学会」大会 抄録

会期:2024年5月19日(日)

会場:御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
2F sola city Hall

一般財団法人
日本プラセンタ医学会

東京都中央区築地 6-4-5-404
TEL:03-6264-2991
FAX:03-6264-3016
URL:<http://www.jplaa.jp/>

〔日本プラセンタ医学会 趣旨〕

プラセンタ療法は、全身の細胞に効果があります。そのことに気付いた先人の研究を引き継ぐ形で、わが国において50年以上にわたり飛躍的に発展を遂げてきました。

本医学会は、2007年の第1回大会から、プラセンタを積極的に使い、多くの患者さんを治療している先生方の経験を集約し、かつ、さらなる普及と発展に努めてきました。また毎年、基礎研究分野での新しい報告がいくつもあり、プラセンタの価値がさらに高まっていることを実感しております。

今後のプラセンタ療法の在り方は、多くの病気の源である老化を治すにあると考えています。ここ数十年、抗加齢治療の発展はめざましく、近年では“老化は病”となり、“老化を治す”の意識と共に、その原因を追究する基礎研究が進み、治療の確立に光が見え始めてきました。

私たちにできる事。それは、プラセンタ療法をアンカードラッグの一つとし、この療法に正しい理解を持つ医療者が尽力し協力し合ってより正確なデータを蓄積し、よりの確で最適なプラセンタの使い方を明確にしていくことです。

そして、この活動と情報を日本プラセンタ医学会の会員と共有し、多くの患者さんに届ける事により、“より豊かな人生”を提供できると考えます。

一般財団法人 日本プラセンタ医学会

理事長 中村 光伸

第33回日本プラセンタ医学会大会 開催にあたって

プラセンタの歴史を紡ぐ

大会実行委員長 五十嵐 豪

五十嵐レディースクリニック 院長



この度、第33回日本プラセンタ医学会大会を2024年5月19日、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで開催させていただくことになりました。プラセンタ医学会への入会、理事になってまだ日が浅い私が、よもやよもやの大会実行委員長に選出され恐縮しつつも光栄に存じます。

テーマは「プラセンタの歴史を紡ぐ」といたしました。過去これまでのプラセンタ療法の歴史から、現在の臨床現場では具体的にどのように活用されているのかについて。そして、プラセンタ療法の今後、新しく明るい未来を予感させる基礎医学研究からオンライン診療まで。プラセンタ療法のこれまでとこれからの歴史を紡ぎだすプログラムを作成し、多くの著名な先生方にご講演をお願いしております。

さて、プラセンタ療法是私が医師になって10年以上経ってから学会で初めて見聞きした治療法でした。医学部の授業でも取り扱ってはおりません。そこで、今回新しい試みとして、医療従事者を狙っている学生に向けたご講演「医薬系学生にもわかるプラセンタ療法の話」を長瀬眞彦先生（吉祥寺中医クリニック 院長）にお願いしました。学生にもっとプラセンタ医学会、プラセンタ療法に興味・知識を持ってもらうことが重要と考えております。

招待講演には女性医学、更年期医学領域における日本のリーダー、寺内公一教授（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 茨城県地域産科婦人科学講座 教授）をお招きし「更年期障害はプラセンタの夢をみるか？」という素敵な演題でご講演頂けることになりました。さらに、特別講演として私の恩師である鈴木直教授（聖マリアンナ医科大学産婦人科学 主任教授、国際妊孕性温存学会 理事長）にお願いして、「小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の今後」という演題でご講演頂けることになりました。10年以上、私と鈴木教授とで基礎実験をして、臨床応用に繋げて、日本を世界レベルにまで引き上げたこのがん・生殖医療の分野について、私が大会実行委員長である今大会でお話し頂けることはこの上ない喜びです。

私が大会実行委員長に任命された後、ある基礎研究を思いついたので、今回特別講演をお願いしている聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターの杉下先生に相談致しました。杉下先生のご厚意、ご尽力により研究内容が洗練され、とんとん拍子で話が進みました。そして、日本生物製剤さんと聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターとの共同研究の契約が締結され基礎研究がスタートし、私もその一員に加えて頂きました。難病治療研究センター センター長の遊道教授からも「難病治療研究センターの能力を集結させて研究に臨む」と、力強いお言葉を頂きました。大会当日、杉下先生から誰も聞いたことのない興味深い新しい研究成果と、これからの展望についてお話が伺えるものと確信しております。どんな話題が飛び出すか楽しみでなりません。

学生に向けたプラセンタ療法の基本的な教育的な演題から、明日からの臨床に役立つ、あるいは応用できる演題。そして、未来に繋がる基礎研究から新しい診療形式まで、きっと満足頂ける盛りだくさんの内容となっております。皆様のご来場を心からお待ちしております。

最後になりましたが、この度の能登半島地震に際し被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

更年期障害はプラセンタの夢を見るか？

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 茨城県地域産科婦人科学講座 教授

寺内 公一 (テラウチ マサカズ)

座長：五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

略歴

1994年 東京医科歯科大学医学部卒業。東京医科歯科大学医学部附属病院、
国保旭中央病院、都立大塚病院産婦人科にて研修。

2003年 医学博士。

2005年 米国エモリー大学内分泌代謝内科リサーチフェロウ。

2012年 東京医科歯科大学女性健康医学講座准教授。2016年同教授。

2020年 東京医科歯科大学茨城県地域産科婦人科学講座教授。

学会活動・資格

日本産科婦人科学会代議員・認定産婦人科専門医・指導医、

日本女性医学学会副理事長・認定女性ヘルスケア専門医・指導医、

日本女性心身医学会理事・認定医、日本骨粗鬆症学会理事・認定医、日本心身医学会代議員、

日本抗加齢医学会評議員・専門医、北米閉経学会 (NAMS) 認定医。



日本産科婦人科学会では、閉経前の5年間と閉経後の5年間とを併せた10年間を「更年期」とし、更年期に現れる多種多様な症状の中で器質的変化に起因しない症状を「更年期症状」、更年期症状の中で日常生活に支障をきたす病態を「更年期障害」と定義している。その発症機構としては、内分泌変動と加齢という身体的因子に加え、性格を基盤とする心理的因子、家庭や職場における対人関係等の社会的因子が総合的に関与して発症に至る “bio-psycho-social model” が想定されている。身体表現性自律神経機能不全 (ICD-10 F45.3) などの身体表現性障害や適応障害 (同F43.2)、あるいは機能性身体症候群なども重なるところの大きい疾患概念である。

更年期症状は、ほてり・発汗等の血管運動神経症状、めまい・動悸・胸部絞扼感・頭痛・肩こり・腰背部痛・関節痛・冷え・しびれ・易疲労感等の身体症状、うつ・不安・不眠等の精神症状から構成され、自記式質問票による症状プロフィールの把握を行うことが一般的である。自記式症状質問票も確定診断のためのツールではなく、あくまで多種多様な症状およびそれに対する治療効果について効率よく把握する際の補助と考えるべきである。患者がある症状を呈した場合に、更年期障害によるものか否かを明確に鑑別することは難しい。40～50歳代の月経不順な女性が多種多様な身体精神症状を呈するものの明らかな器質性疾患が認められない場合に、とりあえず「更年期障害」として取り扱っていく、というのが実情である。

管理・治療の目標は患者のQOL向上であり、更年期症状の完全な消失ではない。診療を継続していくうちに、患者が自分を取り巻く身体的・心理的・社会的状況を受容できるようになるよう支援することが大切である。まずは受容と共感を表出しながら患者の訴えに耳を傾け、背後にある心理社会的要因を探索することが何よりも重要である。次に生活習慣に関する詳細な問診を行い、不適切な習慣があればその改善を指導する。認知行動療法をはじめとする心理療法の有効性も明らかにされている。薬物療法としては、①閉経期ホルモン療法、②漢方薬、③向精神薬、などが用いられる。上述のように多数の因子が複合的に関与する病態に対して、薬物療法の役割はあくまで限定的であることを意識する必要がある。

日本産科婦人科学会では2020年に更年期障害治療の実態に関する調査を行った。それによれば、日本女性医学学会会員医師1532名の17.5%がメルスモン®を、7.2%がラエンネック®を現在使用しており、各治療を有効と考える医師の割合はメルスモン®76.5%、ラエンネック®70.9%、有害事象を経験した医師の割合はメルスモン®4.8%、ラエンネック®1.2%であった (寺内ほか、日本女性医学学会雑誌 30(4):622-626, 2023)。本講演では、この他に更年期障害に対する胎盤抽出物製剤の効果に関する文献的な評価についても紹介する予定である。

外科的閉経後のプラセンタ療法

聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 非常勤講師

澤田 紫乃 (サワダ シノ)

座長：原 靖 原クリニック・院長

略歴

2009年 聖マリアンナ医科大学 医学部医学科卒業

2011年 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学入局

2021年 同上 登録医

2022年4月～ 吉祥寺中医クリニックにて研修

2024年3月～ 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 非常勤講師

専門医・認定医

日本産科婦人科学会専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、

日本骨粗鬆症学会認定医

所属学会

日本産科婦人科学会、日本女性医学学会、日本骨粗鬆症学会、日本東洋医学会、

日本東方医学会



外科的閉経とは、閉経前に手術により両側卵巣の切除を施行し、女性ホルモンであるエストロゲンが枯渇し、閉経状態となることである。近年、若年の子宮がんの罹患者数が増加傾向であり、有経女性で両側卵巣を摘出せざるを得ない患者が増加している。外科的閉経に至るとホットフラッシュなどの血管運動神経症状や不眠・不安などの精神神経症状の卵巣欠落症状が出現し、その程度は自然閉経よりも重度であるとされ、生活の質を大きく低下させる原因となる。その他、骨密度も急激に減少する。当院では2019年12月より、主に外科的閉経患者を対象にがん治療後のヘルスケアを守るべく「がん治療後ヘルスケア外来」を立ち上げた。この外来の治療の主軸はエストロゲン補充療法となる。そこに加え、当院ではプラセンタ療法による更年期治療も施行しており、エストロゲン補充療法で補いきれない様々な症状に対して効果を示している。当外来の実際の手組みを紹介し、プラセンタ療法が有効であった事例を共有する。

プラセンタ製剤における新しい基礎研究

聖マリアンナ医科大学大学院難病治療研究センター / 聖マリアンナ医科大学産婦人科学 准教授

杉下 陽堂 (スギンタ ヨウドウ)

座長：北野原 正高 きたのはら女性クリニック・院長

略歴

2004年3月 聖マリアンナ医科大学医学部卒業

2010年3月 聖マリアンナ医科大学大学院(医学研究科(産婦人科学専攻))卒業

職歴

2004年5月 聖マリアンナ医科大学医学部附属病院研修医

2006年4月 聖マリアンナ医科大学産婦人科学 診療助手

2010年4月 聖マリアンナ医科大学産婦人科学 助教

2018年10月 聖マリアンナ医科大学大学院難病治療研究センター 講師

2021年4月 聖マリアンナ医科大学大学院難病治療研究センター 准教授

専門医

日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本生殖医学会生殖医療専門医、

日本女性医学会女性ヘルスケア専門医・指導医、日本卵子学会生殖補助医療胚培養士

トピックス

最近ではヘルスケアおよび未病を検討中!



産婦人科診療領域におけるプラセンタ療法は、更年期症状の治療時、特にセカンドラインとしてホルモン補充療法(Hormone Replacement Therapy:HRT)後、更年期症状が軽快しない場合に投与されることが多く見受けられる。プラセンタ療法は更年期症状の治療に広く臨床応用されている。更年期症状とは1) 血管の拡張と放熱に関係する症状、2)精神症状、3) その他のさまざまな身体症状とされている。プラセンタ療法では抗ストレス作用、抗炎症作用、免疫賦活・調整作用、自律神経調整作用などの報告があるものの、その作用機序が明らかにはなっていない。我々の研究チームでは更年期関節症に着目している。女性ホルモンであるエストロゲンは手指の血管を拡張し、血流を改善、関節「軟骨」や「滑膜」を保護していると考えられているが、その女性ホルモンが閉経期により低下することで骨に対する保護作用がなくなり、関節は炎症を起こし、変形していく。我々はこの骨に対するプラセンタ療法の影響について、将来新規知見になりうるのではないかと予想される我々の取り組みについて報告する。

小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の今後

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 主任教授

鈴木 直 (スズキ ナオ)

座長：五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

略歴

1990年3月 慶應義塾大学医学部卒業

1997年3月 慶應義塾大学大学院(医学研究科外科系専攻)博士課程修了

職歴

2000年7月 慶應義塾大学助手(医学部産婦人科学)

2011年4月 聖マリアンナ医科大学教授(婦人科学)

2012年4月 聖マリアンナ医科大学主任教授(婦人科学、産婦人科学講座代表)

2023年4月 聖マリアンナ医科大学病院副院長

所属学会

日本産科婦人科学会：常務理事、神奈川県産婦人科医会：理事、

日本婦人科腫瘍学会：常務理事、日本癌治療学会：理事、

婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)：支持・緩和医療委員会副委員長、日本受精着床学会：執行会員、

日本がん・生殖医療学会(JSFP)：理事(前理事長2012-2023)、

Asian Society of Gynecologic Oncology(ASGO)：理事、International Gynecologic Cancer Society(IGCS)：理事、

Asian Society for Fertility Preservation(ASFP)：理事(前理事長2015-2020)、

International Society for Fertility Preservation(ISFP)：理事長(2023-)

専門医等

日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医、日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、緩和ケアの基本教育に関する指導者(日本緩和医療学会)



がん・生殖医療とは、がん患者の診断、治療および生存状態を鑑み、個々の患者の生殖能力に関わる選択肢、意思および目標に関する問題を検討する生物医学、社会科学を橋渡しする学際的な一つの医療分野(提供される技術は生殖補助医療)である。対象患者ががん患者であることから、がん・生殖医療はがん医療の一環と考えられている。

なお、がん・生殖医療において患者と家族に対して意思決定支援を行う際に、妊孕性温存の希望の有無を聴取することは大切であるが、患者が妊孕性温存を選択しないという道を選択できるよう確実な情報を的確なタイミングで情報提供できる意思決定支援体制の構築が重要となる。将来の不確実性の中で、不安と恐怖を抱える患者とその家族に対する意思決定支援を行うためにも、がん・生殖医療を担う医療従事者における人材育成が急務となっている。さらに、本領域が浸透しつつある本邦において、妊孕性温存の有無に関わらずサポートすべき領域であるオンコウィメンズヘルスケア、がんサバイバーの安全な出産を志向するプレコンセプションケア、公的経済的支援が進むことで遺伝性腫瘍患者に対する着床前遺伝学検査並びに妊娠期がん、そして死後生殖等検討に着手すべき課題が少なくない。本講演では、「小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の今後」と題して、本領域の最近の知見を概説させていただく。

皮膚科・美容皮膚科分野でのプラセンタ療法

医)千美会 千春皮フ科クリニック 院長

渡邊 千春 (ワタナベ チハル)

座長：鄭 栄鳳 医)鳳栄会 清水スキンクリニック・院長

略歴

1993年 東京医科大学卒業
東京医科大学皮膚科勤務
1997年 板橋中央病院皮膚科医長
1999年 東京医科大学皮膚科勤務
2000年 東京医科大学皮膚科助手
2003年 肌クリニック大宮 院長
2008年 肌クリニック大宮 ベルビー赤坂 総院長
2012年 千春皮フ科クリニック 開院
2019年 千春皮フ科クリニック広尾院 開院

所属学会・資格

医学博士

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、日本プラセンタ医学会理事、
日本レーザー医学会専門医・評議員、AMI Japan Senior Trainer (アラガン社指導医)、
日本アレルギー学会会員、日本臨床皮膚科外学会会員、日本抗加齢医学会会員、
日本美容皮膚科学会会員、日本医学脱毛学会会員



プラセンタはメラニン色素を抑制し、コラーゲン(ハリ、ツヤ)、ヒアルロン酸(水分)、エラスチン(ハリ)等の再生を促進します。また、体内の新陳代謝を活発にして、血行を促進し、免疫力を高め、過酸化脂質や活性酸素など肌の老化の原因を抑えると言われています。

当院は皮膚科一般治療だけでなく、しみ、しわ、ニキビ、毛穴などの美肌治療を目的としてさまざまな肌治療にプラセンタを用いています。例えばイオン導入は、電気の反発力を利用して真皮内に有効成分を押し込む方法で通常の外用の200倍の浸透力があると言われており、当院では、5%ビタミンC溶液と同時にプラセンタを導入することで美白効果を高めています。その他、エレクトロポレーション、メソセラピー、熱機械式アブレーションなどと組み合わせて使用しています。

一般皮膚科診療では、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、蕁麻疹などに用いて効果を上げています。今回は、実際の方法といくつかの症例を供覧させていただきます。

プラセンタ療法の歴史

日本プラセンタ医学会 理事長 / 医) 最匠会 光伸メディカルクリニック 理事長

中村 光伸 (ナカムラ コウシン)

座長：長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長 / 日本プラセンタ医学会・名誉理事
日本東方医学会・会長 / 順天堂大学医学部 医学教育研究室・非常勤助教

略歴

東京生まれ

北里大学医学部卒業、北里大学整形外科入局

ドイツ・フンボルト大学・台湾・チャンガン大学へ留学

北里大学整形外科専任講師・北里大学救命救急センター整形外科長、

松倉クリニック&メディカルスパ等を経て、

2011年12月 自身の理想とする医療を実現するため、

「光伸メディカルクリニック・AION メディカルスタジオ」を、東京・新宿に開業

2023年4月 一般財団法人日本プラセンタ医学会 理事長就任

資格・所属学会

医学博士、日本整形外科学会認定医、日整会認定スポーツ医、日整会認定リウマチ医、日本抗加齢学会認定医、

日本体育協会公認スポーツドクター、日本プラセンタ医学会認定医、日本美容皮膚科学会、日本美容外科学会



プラセンタ療法は歴史にもとづく有効性と安全性が認められた治療である。今では保険治療薬としての利用はもとより全身に及ぶ効力が確認されており、多くの病の源流である“老化”の治療目的のアンカードラッグとしての期待がかかっている。

この療法をより理解し、今後の発展につなげるためプラセンタ療法の歴史について述べさせていただく。

①古典より

人類が胎盤の薬効に着目した起源は明らかではないが、肉食動物であれ草食動物であれ、哺乳動物が出産後に娩出される胎盤（後産）を等しく食べてしまうという事実の観察が、その活用の端緒であったと考えられている。

史料に初出するのは唐代の『本草拾遺』（739年、陳臓器）で、「人胞、胞衣」の名で記載がある。

また明代の薬学書『本草綱目』には（1596年頃、李時珍）には「人胞」（別名として紫河車・胞衣・胎衣・混沌衣 などと記載）の名で記述があり、その効能は「安心、溶血、益気、補精、解毒、補血」とされている。

日本では、江戸時代に煉り薬の「混元丹」に紫河車が配合され、「加賀の三大秘薬」に数えられた。

②近代プラセンタの歴史

1920年～30年代、旧ソビエトのフィラートフ博士（オデッサ医科大学、眼科医）は、冷凍保存した角膜を移植に使うと成功率が高まることにヒントを得て、冷蔵したプラセンタを病人の身体に埋め込む組織療法を開発した。

稗田憲太郎教授（満州医科大学）は敗戦を満州で迎え、中国で医療活動中にフィラートフ博士の業績を知り研究を始め1953年に帰国。久留米大学に着任後も「プラセンタ組織療法」の研究を続け「冷凍胎盤漿液療法」を確立した。注射薬「ラエンネック」を創製。1959年には肝硬変の医家用医薬品として認可を得た。

他方で、三林隆吉教授（京大医学部産婦人科）は第二次大戦末期から胎盤を栄養剤とする研究を開始し「ビタエックス」を完成させ内服薬として発売された。

上記の流れの中で「組織療法」を研究していた医師達が「組織療法研究所」を組織して注射薬「メルスモン」を完成させ、「更年期障害、乳汁分泌不全」の医家用医薬品の認可を得た。

「組織療法」に関心が集まった 1950年当時、九嶋勝司博士（秋田大学元学長）は臍帯に注目して研究を積み、その後、協同開発者が事業を引き継いでプラセンタエキス含有の医薬品、健康食品を市場に送った。

このような基となる歴史を軸に、さらに細部にわたりプラセンタの歴史について述べる予定である。

医薬系学生にもわかるプラセンタ療法の話

吉祥寺中医クリニック 院長 / 日本プラセンタ医学会 名誉理事 / 日本東方医学会 会長
順天堂大学医学部 医学教育研究室 非常勤助教

長瀬 眞彦 (ナガセ マヒコ)

座長：中村 光伸 日本プラセンタ医学会 理事長
医) 最匠会 光伸メディカルクリニック 理事長

略歴

1969年 生まれ
1994年 順天堂大学医学部卒業 JR東京総合病院内科研修
1996年 順天堂大学医学部附属順天堂医院放射線科入局
1999年 長白会タニククリニック 副院長
2001年 鉄砲洲診療所 副院長
2006年 吉祥寺中医クリニック院長
2017年 順天堂大学医学部 医学教育研究室
2023年 同教室 非常勤助教



資格

日本東洋医学会漢方専門医・指導医、日本東方医学会中医専門医、医学博士

役職

一般財団法人東方医療振興財団 理事長
日本東方医学会 会長
順天堂大学医学部 医学教育研究室 非常勤助教
日本プラセンタ医学会 名誉理事
杏林東洋医学研究会 世話人
世界中医薬連合会アレルギー疾患専門委員会 常務理事

プラセンタ療法とは、ヒト胎盤注射製剤を治療に用いる療法である。日本国内で医薬品として認可されている注射製剤に、メルスモンとラエンネックの2種類があり、メルスモンは更年期症候群および乳汁分泌不全に、ラエンネックは慢性肝疾患における肝機能の改善に、それぞれ保険適用されている。疾患治療を行っている医師の間ではこのように用いられている。

しかしながら、世間一般には、プラセンタと言えば美容のようなイメージが圧倒的に広まってしまっている。この理由はなんであろうか？それらを踏まえ、今後、医薬系学生が医療従事者としてどのようにあるべきかを一緒に考え、また、医薬系学生にも分かりやすいプラセンタ療法の話をする。

文献：唐沢洋介、露口元夫ほか。メルスモンの更年期障害に対する臨床治験：薬理と治療：9 (3)：1981。
唐沢洋介ほか。乳汁分泌不全に対するメルスモンの臨床治験：薬理と治療：15(3)：1981。
上田英雄ほか。二重盲検によるCE-14の慢性肝疾患に対する効果：肝臓 15(3) , 62-171. 1974.

更年期女性のオンライン診療活用の実態と展望について

株式会社My Fit 代表取締役

山田 真愛 (ヤマダ マナミ)

座長：石束 麻里子 いしつか脳神経クリニック

略歴

2021年 株式会社My Fit設立

2021年 東京農工大学工学部生命工学科卒業

2021年 東京大学大学院農学生命科学研究科 研究員



更年期を迎える女性達は多岐にわたる身体的及び心理的变化に直面しており、この重要な時期に適切な医療サービスへのアクセスは極めて重要です。しかし地理的、時間的な制約に加え、社会的な理解の不足などが原因で、適切な更年期医療にたどり着けない女性も数多いのが現実です。実際に更年期障害で医療機関を受診する女性は全体の約 3 割にとどまるという調査結果もございます。このような背景から、オンライン診療は更年期女性にとって新たな選択肢となる可能性を秘めています。弊社は、更年期障害の診療、ホルモン補充療法を含む処方薬の提供、さらには更年期に伴う様々な症状に関する包括的なアドバイスを含むオンラインサービス「MYLILY」を、自費診療として提供しています。本演題では、更年期女性たちがオンライン診療をどのように利用しているのか、その実態と今後の展望に焦点を当て、オンライン診療が彼女たちの生活をどのように支えているのかについて、実際のデータと分析結果をもとに詳細にご紹介します。

医院の資金繰りを改善し、ファーストクラスやビジネスクラスに無料搭乗・高級ホテルに無料宿泊を実現する方法

企業経営アドバイザー / ファイナンシャルプランナー

服部 雄一 (ハットリ ユウイチ)

座長：五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

略歴

1997年 新卒で大手ユニフォームメーカーにて勤務

2001年 外資大手人材コンサルティング会社にて勤務

現在 国内最大手金融機関にてファイナンシャルプランナーとして勤務

資格

企業経営アドバイザー

日商簿記検定2級

ファイナンシャルプランナー

事業承継アドバイザー

銀行取引アドバイザー

終活カウンセラー

第一種衛生管理者

EAPコンサルタント



「企業経営アドバイザー」は、企業の「総合診療医」として、地域企業の元気(=稼ぐ力)を引き出すために経営・事業を総合的な観点から診断し、必要に応じて様々な専門家との連携を図りながら、持続的な成長のための適切な処方箋を出すことができる専門家です。

資金繰りを改善する方法の一つは、

「入金をいかに早く」、

「支払いをいかに遅らせるか」、

です。

本日の講義内容を実践すると以下の効果が期待できます。

- ・医院の資金繰りが改善(支払いを遅らせる事が出来る)
- ・ファーストクラスやビジネスクラスに無料搭乗
- ・ラグジュアリーホテルに無料宿泊

<その他、医療法人の理事長・個人開業医の院長にお役に立てること>

- ・金融機関から有利に借入をする方法
- ・金融機関に相談をせずに中3日で資金調達を行う方法
- ・医療法人の口座で投資信託を購入する方法
- ・心理学を使って支払家賃を削減する方法
- ・その他

HUMAN PLACENTA



特定生物由来製品

薬価基準収載

たん白アミノ酸製剤・処方箋医薬品

メルズモン[®]

効能又は効果

更年期障害・乳汁分泌不全

胎盤製剤

MELSMON[®]



製造販売元 (文献請求先及び問い合わせ先)

メルズモン製薬株式会社

お客様相談窓口

〒332-0003 埼玉県川口市東領家2-35-6

TEL 048(223)1755 FAX 048(223)1305

効能又は効果、用法及び用量、
その他の詳細は、電子添文をご参照ください。

1アンプル 2ml

胎盤絨毛分解物の水溶性物質
(ヒト胎盤由来成分)

2023.12

Kracie

医療機関専売品

PLACENTA BON RICH

プラセンタボンリッチ

1本に満足を凝縮。配合量にこだわった

『プラセンタエキス純末400mg』配合ドリンク。



ニン ジン
PLACEN NINJIN

Wの健康素材で活力をサポート

『プラセンタエキス純末300mg』+『高麗人参抽出物120mg』配合ドリンク。



クラシエ 薬品株式会社 東京都港区海岸3-20-20

お客様相談窓口 ☎(03)5446-3334 受付時間 10:00~17:00(土、日、祝日を除く)

JBP ナノニードル

極細（最小 34 ゲージ）× 肉薄（0.05mm）を実現



- 30 ゲージから 34 ゲージまで内径が大きいウルトラシンウォール（UTW）構造を採用。
- ウルトラシンウォール（UTW）構造により、スムーズな注射剤の投与と低侵襲な施術が可能です。
- 穿刺部位・投与製剤によりゲージと針の長さを細かく選択することが可能です。

管理医療機器 単回使用注射用針 認証番号 229AFBZ100046000

選任製造販売業者（資料請求先）
株式会社日本生物製剤 東京都渋谷区富ヶ谷 1-44-4

詳細は添付文書をお読みください。試供品及び資料に関するお問い合わせは上記までご連絡ください



私達 JBP は、プラセンタを通じて、「生命」と「環境」の理想的な循環と維持を実現するライフ・スタイルを提案し続けます。

株式会社 日本生物製剤

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1 丁目 44 番 4 号 Tel. 03-3481-6061(代表)
<http://jbp.placenta.co.jp/>

2024 年 2 月作成

JBP ポーサイン 100

美しく 齢を重ねたい方の健康維持に
これからも健康であり続けたい方の健康維持に



医療機関専売品

430mg（内容成分 350mg）100 粒入り

医療機関専売

想像を超えた
ハリと透明感

世界初の
「W 酵素分解抽出法」
による
浸透率*アップ
※角質層まで



抗シワ
評価試験クリア

本美容液は、「抗シワ評価試験」をクリア。「乾燥による小ジワを目立たなくする効能評価試験済み」

プラセンタ原液

PLプレミアムエッセンス

30mL 13,200円(税込)



株式会社 UTP ユニバーサル トランセンド プランニング

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-9-13 日本橋本町 1 丁目ビル 7F

<https://utp.co.jp> [f utputj](https://www.facebook.com/utputj) [✉ info@utp.co.jp](mailto:info@utp.co.jp) [@atup_placenta](https://www.instagram.com/atup_placenta) ☎ 03-3666-8882

03-3666-8882

おかげさまで 20 周年を迎えることができました

20th

これまでのご愛顧に深謝いたしますとともに
これからも日本の美容医療の発展に貢献して参ります

弊社では医師・歯科医師の個人輸入による海外医薬品等の輸入代行を行っております。
取扱製品やお手続き等の詳細は下記までお気軽にお問い合わせくださいませ。



株式会社 **ウェルハート**
WELL-HEART CORPORATION

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-17 晴花ビル 4F
tel : 03-6812-5501 fax : 03-6812-5401 mail : sales@well-heart.co.jp



// より良い明日へ

バイエルはイノベーションや治療法の提供を通じて、
患者さんのための治療に変革をもたらす持続可能な取り組みを推進しています。
私たちの目的 "Science for a better life" に沿って、
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Science for a better life

PP-GEN-JP-6349-29-11

薬価基準収載

BIO THREE

BIO THREE

活性生菌製剤

ラクトミン・酪酸菌・糖化菌配合

ビオスリー®配合OD錠


腸内菌叢の異常による諸症状の改善

◆「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等については、製品添付文書をご参照ください。

2019年9月作成

発売元
文献請求先及び
問い合わせ先
東亜新薬株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-2-11
TEL 03(3347)0770 FAX 03(3347)0780
<http://www.toashinyaku.co.jp>

製造販売元 **東亜薬品工業株式会社**
販売  **鳥居薬品株式会社**

新しい
生きるを、
創る。

独自技術で難病に挑み、
ひとりの「生きる」に希望をとどける。
ユニークな機能性食品で、
みんなの「生きる」を健やかにする。
新しい時代の、新しい生きるを、
わたしたちは、創っていく。



健康未来、創ります
 **日本新薬**

Voluson Series

多くの産婦人科の先生にご好評いただいている
超音波画像診断装置 Voluson シリーズ。
Volume Ultrasound for OB/GYN



3D/4Dボリューム超音波から内診室向け経膈超音波まで幅広いラインナップが揃いました。

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
カスタマーコールセンター 0120-202-021

gehealthcare.co.jp

(医療機器認証/承認番号)
製造販売 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
販売名称 汎用超音波画像診断装置 Voluson Expert 22
医療機器認証番号 304ACBZX00004000
販売名称 汎用超音波画像診断装置 Voluson E8
医療機器認証番号 218ABRZX0100000
※Voluson E10は Voluson E8の類型です。

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Voluson S8
医療機器承認番号 222ABBZX00198000
※Voluson S10 ExpertとVoluson S8 Touchは
Voluson S8の類型です。
販売名称 汎用超音波画像診断装置 Voluson SWIFT
医療機器認証番号 302ACBZX00020000

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Voluson P8
医療機器承認番号 224ABBZX00143000
eM6Cアコースティック 医療機器認証番号 223ABBZX00126000
※eM6C G3アコースティックは販売名 eM6Cアコースティックの類型です。
IC9-RSアコースティック 医療機器認証番号 226ABBZX00154000

記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。
JB05858JA



若々しく、アクティブな毎日へ

— 内側からエネルギーチャージ —

医療機関限定食品

PQQ^{*} 20mg 配合サプリメント

広島大学と共同研究

プルーフア
セルアライブ[®] EX

容量: 84粒 [21粒×4袋]

1日3粒
トータルケア

マカ
エキス

オタネ
ニンジン
エキス

大豆
エキス



プルーフア
セルアライブ[®]

容量: 30粒 [10粒×3シート]

1日1粒
飲みやすい小粒

*ピロキニリンキノニナトリウム塩

お問合せ

ロート製薬株式会社

TEL: 06-6758-1344
e-mail: rxs1@rohto.co.jp

プルーフア
ブランドサイト



FujiPharma



天然型黄体ホルモン製剤

薬価基準収載

エフメノ[®] カプセル100mg

F-meno[®] capsules 100mg プロゲステロンカプセル

処方箋医薬品 (注意一 医師等の処方箋により使用すること)

® : 登録商標 (BESINS HEALTHCARE LUXEMBOURG S.A.R.L. 所有)

「効能又は効果」「用法及び用量」「禁忌を含む
注意事項等情報」等につきましては、電子化
された添付文書等をご参照ください。

製造販売元(輸入)、文献請求先及び問い合わせ先
富士製薬工業株式会社
富山県富山市水橋辻ケ堂1515番地
TEL. 0120-956-792 (富山工場 学術情報課)

2022年9月作成

Life

with



ASKA

あすか製薬は1920年の創立以来、産婦人科領域の医薬品を積極的に開発してきました。

これからも、よりよい医薬品の提供を通じ、医療関係者の皆さまとともに、

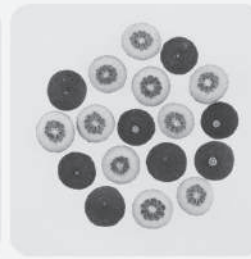
女性の健康を、ご家族のしあわせを、力強くサポートします。



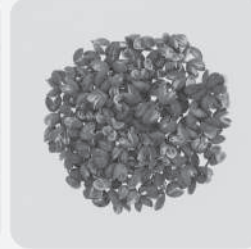
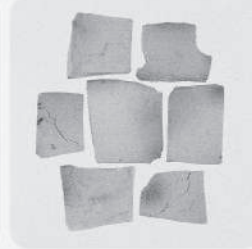
あすか製薬株式会社

〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号

2018年4月作成



生薬には、
個性がある。



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。
医療関係者の皆様 tel. 0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel. 0120-329-930 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (株)

協賛団体・企業一覧

川崎市医師会

川崎市産科婦人科医会

聖マリアンナ医科大学同門会

桜井産婦人科

(株) UTP

北海道ナチュラルバイオグループ (株)

第33回 日本プラセンタ医学会大会 抄録

[場所] 東京都千代田区神田駿河台 4-6

[会場] 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2F sola city Hall

●総合司会 大会実行副委員長 上田 容子 (医)美帆会 神楽坂ストレスクリニック・院長

9:30 開場

《午前の部》

10:00 開会の辞 五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

10:10 座長: 原 靖 原クリニック・院長

特別講演1 外科的閉経後のプラセンタ療法

演者: 澤田 紫乃 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学・非常勤講師

10:30 質疑応答(5分)

10:35 座長: 鄭 栄鳳 (医)鳳栄会 清水スキンクリニック・院長

指定演題1 皮膚科・美容皮膚科分野でのプラセンタ療法

演者: 渡邊 千春 (医)千美会 千春皮フ科クリニック・理事長

10:55 質疑応答(5分)

11:00 座長: 長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長/日本プラセンタ医学会・名誉理事/日本東方医学会・会長/順天堂大学医学部 医学教育研究室・非常勤助教

指定演題2 プラセンタ療法の歴史

演者: 中村 光伸 日本プラセンタ医学会・理事長/(医)最匠会 光伸メディカルクリニック・理事長

11:20 質疑応答(5分)

11:25 座長: 中村 光伸 日本プラセンタ医学会・理事長/(医)最匠会 光伸メディカルクリニック・理事長

指定演題3 医薬系学生にもわかるプラセンタ療法の話

演者: 長瀬 眞彦 吉祥寺中医クリニック・院長/日本プラセンタ医学会・名誉理事/日本東方医学会・会長/順天堂大学医学部 医学教育研究室・非常勤助教

11:45 質疑応答(5分)

11:50 座長: 石束 麻里子 いしつか脳神経クリニック

指定演題4 更年期女性のオンライン診療活用の実態と展望について

演者: 山田 真愛 株式会社 My Fit・代表取締役

12:10 質疑応答(5分)

12:15 弁当配布(15分)

12:30 座長: 五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

ランチョンセミナー 医院の資金繰りを改善し、ファーストクラスやビジネスクラスに無料搭乗・高級ホテルに無料宿泊を実現する方法

演者: 服部 雄一 企業経営アドバイザー/ファイナンシャルプランナー

13:00 休憩(25分)

《午後の部》

13:25 座長: 北野原 正高 きたのはら女性クリニック・院長

特別講演2 プラセンタ製剤における新しい基礎研究

演者: 杉下 陽堂 聖マリアンナ医科大学大学院難病治療研究センター / 聖マリアンナ医科大学産婦人科学・准教授

13:45 質疑応答(5分)

13:50 休憩(10分)

14:00 座長: 五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

特別講演3 小児・AYA 世代がん患者に対するがん・生殖医療の今後

演者: 鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学・主任教授

14:50 質疑応答(10分)

15:00 座長: 五十嵐 豪 五十嵐レディースクリニック・院長

招待講演 更年期障害はプラセンタの夢を見るか?

演者: 寺内 公一 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 茨城県地域産科婦人科学講座・教授

15:50 質疑応答(10分)

16:00 第34回大会案内 石束 麻里子 いしつか脳神経クリニック

16:10 閉会の辞 上田 容子 (医)美帆会 神楽坂ストレスクリニック・院長